



五霞西小学校

元気いっぱい! ごかっ子情報



町内の小・中学校で行われた取り組みや行事などを紹介します。
今月は、五霞西小学校を紹介します。

地域とともに

地域と学校の連携・協働は、教育と子どもたちの明日へ心を寄せるすべての方々を支えられています。

それは、子どもたちの安全の確保、多様な体験活動などによる「生きる力」の育成につながっています。

スクールガード



児童の登校の時間になると町の危険箇所がオレンジ色で表されます。スクールガード（子ども見守り）の皆様のベストの色です。交差点や横断歩道で児童の安全を守る立哨指導をしています。

また、毎朝一緒に、子どもたちの通学班を学校まで見守りながら、指導していただき、正門に入るまで見届けていただいています。

稲作・畑作・野菜作り体験

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休業となりました。例年、児童が行う田植えやサツマイモ苗植えなどは職員が行いました。地域の皆様の協力を得て、学校が再開する準備を進めました。



学校が再開した六月二十三日には六年生が久しぶりの体験活動「ジャガイモ掘り」を行いました。稲作、畑作（ジャガイモ・サツマイモ・里芋・黒豆な

ど）は、本校学校評議員でもある、鈴木昇様にご指導いただいています。

また、野菜作りとウサギの飼育は、えさの調達も含めて、齊藤直春様にご協力いただいています。

子どもたちは、地域と学校が連携協力することで、様々な体験をすることができます。

そして、地域への「想い」や「愛着」、地域の人々との交流が深まっています。



子どもの声コーナー

六年生で頑張りたいこと

六年 里吉 海都

六年生でがんばりたいことが三つあります。

一つ目は、勉強です。五年生ではがんばれないこともあったので、授業でたくさん発表したいです。

二つ目は、運動です。休業中は運動不足だったので、たくさん体を動かしたいです。

三つ目は、友達と仲良くすることです。休業中は、友達とも会えず、つまらなかったです。

学校が始まったので、友達と仲良くたくさん遊びたいです。

つらかった休業期間

六年 吉田 友梨

長い休業期間中、私はつらいと思うことがいくつもありました。友達に会えなかったこと、みんなと勉強できなかったこと、卒業生や担任の先生とお別れができなかったことなどです。

今、学校が始まり、こうして先生や友達に会えるようになってうれしいです。

これからも、みんなと勉強や運動ができるようにソーシャルディスタンスや手洗い・うがいを心がけていきたいです。そして、小学校最後の年を楽しみたいです。